

新エネルギー等を活用した地域活性化、産業振興について（たたき台）  
（新エネルギー等活用調査特別委員会における課題・提言）

1 新エネルギー事業を通じた産業振興（木質バイオマス発電事業を通じた林業振興）

- 燃料である未利用間伐材の安定供給体制の確立
  - 間伐を促進するための路網整備、担い手の育成
  - 木材の需要拡大（高く売れる用材の確保のための森林整備）
    - 森林整備の手段として、間伐材のエネルギー利用の推進
  - 地域における小規模分散的な間伐材収集への対応（木の駅プロジェクトの推進等）

2 エネルギーの地産地消の推進（新エネルギーを活用した地域活性化）

- 小水力発電の持つ地域活性化の可能性（多面的機能）
  - 県内における可能性調査（地域づくり、防災、観光などの複合的機能）
  - 事業に取り組む集落（自治体・団体等）への支援（協議会のコーディネートなど）
  - 県民への啓発

（その他：廃棄物系バイオマス再資源化、スマートコミュニティなど）

3 メタンハイドレートに対する県の取組方向（新エネルギー等事業による産業振興・地域活性化の今後の展望・可能性の一つとして）

- メタンハイドレートの商業化を見据えた県としての展望
  - 技術開発の動向に関する情報収集
  - 関連企業とのネットワークづくり（陸上基地やエネルギー関連企業の誘致）
  - 県産業振興、地域活性化につなげるための地元協力体制の整備